

# おうち



テーマ

考える力を育む

「もりのぼうけん」  
おおみや幼児教育センター  
くしぶち かいと くん(年長)



栃木県総合教育センター所長

大高 栄男

「子どもの考える力を  
育てるために」

息子が成人式を迎える数日前、お世話になった幼稚園から一枚のものが届きました。そこには、「成人おめでとうございます」というメッセージとともに、卒園式の時全員で撮った記念写真がありました。思わず「わあー懐かしいー」と声を挙げたのは、本人ではなく私と妻の方で、当時の息子を回想し、いつのまにか思い出話に夢中になっていました。「そつえばあの頃は」と切り出せば、たくさん記憶が溢れてきました。産まれたときのこと、読み聞かせた絵本のこと、階段から落ちてけがをしたこと…、周りの友達や先生方の話題に移ると、さらに話は延々と続き、当時のことが愛おしいほどによみがえってきました。不思議と記憶は鮮明で、こんなにも我が子を心配し、そばで見守っていたのだということに改めて気付かされました。思いもかけない幼稚園からのプレゼントは、我が家に懐かしく笑顔あふれる時間を与えてくれました。

そつえば、息子が小さいときに「どうして?」「なんで?」と絶えず聞いてきたことを思い出します。当時は、つい忙しくて、すぐに答えを言ってしまうたり、言い聞かせてしまったりしていた自分がいました。東京大学大学院教授の梶谷真司氏は、著書「考えるとはどういうことか」0歳から100歳までの哲学入門」の中で、考えることは、他人との対話「共に問い、考え、語り、聞くこと」であり、いろいろな人と話すことで、思考はより深く豊かになる」と述べています。時間がかかっても、答えを自分で考えさせたり、一緒に考えたり、もっと答えを探る過程を大事にすることが、子どもの考える力を育てるためには大切だったなと、改めて感じています。

ふとはがきの写真と成人を迎えた息子の姿を見比べれば、改めて年月の重さと成長を実感します。二十年という時間の中で、多くの経験をし、様々な人と出会い、たくさん先生方や友達とふれあいながら少しずつ成長し、いつのまにか自分で考え、判断し、行動できるようになってきた姿には、感慨深いものがあります。

さて、そんな息子ですが、成人式会場に行つたきり、いつまでも帰つて来ないのを心配して、そつと覗きに行くこと…やれやれ、彼は最後の数人になるまで、楽しそうに友達と話をしており、そんな姿にも心が満たされる思いでした。

# アンケート「考える力を育む」

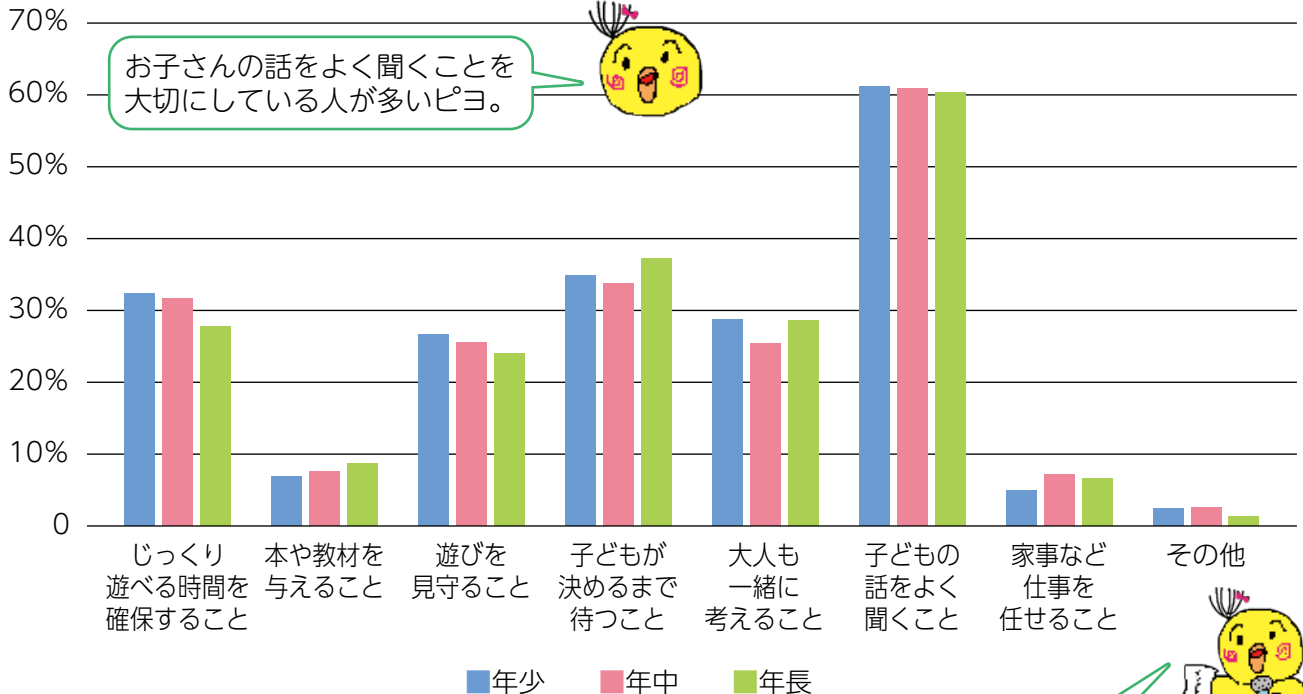
保護者アンケート(2022年1月実施)

県内の3～5歳の子をもつ保護者 回答数2,921  
年少(満3歳を含む)1,082 年中870 年長969



子どもの考える力を育むために、あなたが大切だと思うことは何ですか？

(2つまで回答)



お子さんの話をよく聞くことを大切にしている人が多いピヨ。



どの年齢でも、大切にしていることは同じなんだね！ピヨッ！



## アンケートに寄せられたコメント

工作が好きで、作っている様子を見てると、つい「こうした方が」と言ってしまういたくなるのですが、最後まで口を出さずに見守っていると、「なるほど。そんな方法もあったのか。」と驚くこともあり、子どもの考えることってすごいなと感じます。

(輪王寺附属日光幼稚園)

休みの日に娘と外へ探検に行くと、娘はいろいろなことに疑問をもち考えます。大人にとっては大したことないことでも、疑問をもったことに対して子どもがあれこれ考えるのは、とても大切なことだと感じます。

(那須烏山市立つくし幼稚園)

遊んでいる時に、いろいろと考えていると思います。小学校に行く前に文字の読み書きができるようにと、ついつい勉強をさせなければと焦りますが、その前に遊びの中で考える力を育てていると思えばよいのですね！

(こぼと保育園)

質問をされた時、「どうしてなんだろうね。」と返事をするようにしたら、自分で考えて答えを言うようになりました。ある時は遊びの中で答えが見つかったようで、「こうしたらこうなった！！」と嬉しそうに話してくれました。

(認定こども園大平みなみ幼稚園)

お散歩をしていた時、子どもに「これ、なんていうの？」と聞かれました。私も知らない植物だったので、後日、市の図書館に行って図鑑で調べ教えてあげました。図書館で本を借りて読み聞かせをするようになってから、いろいろなことに興味をもつようになり、遊びが広がりました。

(日光市塩野室児童館)

# 教えて！幼児教育指導員さん！



次々と遊びが変わっていくのですが、これで考える力がつくのでしょうか？

うまくいかないときに、つい、口を出してしまいます・・・。



栃木県幼児教育センター  
幼児教育指導員 野中 悦子



一つの遊びに集中することも大切ですが、見方を変えれば、いろいろなものに興味があり好奇心旺盛ともとれます。好奇心は考える力の始まりです。今はいろいろな物との出会いを楽しんでいる時期なのかもしれません。一見すると、細切れのように見える遊びも、興味や関心が土台となつてつながっていることがあり、考える力は育っているのです。

まずは、一緒に楽しく遊んでみてはいかがでしょうか。親子の楽しい時間の中で、考える力の「種」を見つけられるかもしれません。どんな種を見つけるのか楽しみですね。

栃木県幼児教育センター  
幼児教育指導員 小倉 庸寛



ついつい「子どもが失敗しないように」「子どもが快適に過ごせるように」と、子どものために声をかけがちです。声かけすることが「親の役割」と考えてしまう面があります。しかしながら、この先いつまでも口出しし続けることはできません。子どもには「自分で考える力」「主体性や創造力」を身に付けてもらいたい。そのために、親が一步下がって、見守ること、一言いいたいときもぐっとこらえてみることも親の役目かもしれませんね。間違っても失敗しても、その中で考える力が育まれていきます！

## 子どもの遊びをのぞいてみよう♪

～4歳 Kくんの毎日～



このボウルがよく回る！！



どこまでいくとバタンってなるかな？



ドンッてすると水が飛び出すよ！



この穴はどうなってるのかな？

大人には分からない遊びの楽しさが、子どもの世界にはあるんだなあ。子どものわくわくは最強！



子どもの遊びはノーベル賞級の科学者が探究する営みと同じだって、心理学者のピアジェは言っているピヨ！

子どもは、好奇心をきっかけにして興味があることに夢中になります。その中で、感じたり、気付いたり、比べたり、試したり、予想したりしながら考える力は育まれていきます。

一方的に与えられたものではなく、子どもの内側から湧き出る思いが遊びの原動力となるので、大人が興味を抱ききっかけをつくったり、興味をもったことに対して共感したり、見守ったり、一緒に考えたりすることなどが大切です。

大人の関わり方は様々ですが、子どもの興味に寄り添っていく姿勢を大切にしたいですね。

# 基本的な生活習慣を育む～望ましい食習慣の形成～



幼稚園、こども園、保育所では、和やかな雰囲気の中で保育者や友達と一緒に食べる喜びや楽しさを感じたり、食べ物への興味や関心をもったりすることを大切にしながら、自ら進んで食べようとする気持ちが育つようにしています。



栃木県保健福祉部健康増進課  
健康長寿推進班 池内 寛子さん

では、ご家庭ではどうしたらよいのでしょうか？  
管理栄養士さんに聞いてみたピヨ！



ご家庭の食事は、お子さんの生涯の味覚形成の土台となり、健やかな心や体の発育・発達を支える基本になります。大切なことは、他のお子さんとは比べずに、子どもの健康的な体格やこれを維持するために必要な食事の量を知り、「子どもの成長に大切なこと」を毎日続けることです。

お子さんは、毎日の生活を通してたくさんのことを学んでいます。食事の場面では、ご家族と一緒に食材に触れ、料理を作ったり食べたりすることを通じて心を豊かにし、コミュニケーションやマナーなどの社会性を育む一つの教育の場にもなります。

7つのこ食（孤食、子食、個食、固食、小食、粉食、濃食）を避け、食事を楽しみましょう。

※7つのこ食とは → [https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/pdf/shokujiguide1\\_1.pdf](https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/pdf/shokujiguide1_1.pdf)

朝食、昼食、夕食はきちんと食べて毎日の活動に備える

主食・主菜・副菜を揃え、うす味を心がけ、子どもの頃から生活習慣病を予防する

子どもの補食（おやつ）は足りない栄養を補う一つ、果物や乳製品で1日の栄養バランスを整える



## 栃木子どもの本連絡会からの **オススメ**

### 「あかちゃんのゆりかご」



偕成社  
レベッカ・ボンド 作  
さくまゆみこ 訳

あかちゃんが生まれると分かった時、家族はみんなで大喜び。家族一人一人があかちゃんのことを考え、それぞれが工夫をして、素敵なゆりかごを作ります。真珠色に輝く月の光さえも、あかちゃんの誕生を楽しみに待っているかのようです。



栃木子どもの本連絡会  
長岡 広江さん

おばあちゃんが1枚ずつ布を選び、縫い上げたベッドカバーが、表紙を開いた瞬間から読者を優しく包んでくれます。愛情いっぱい、アメリカの絵本です。

「子どもに読書のよるこびを」をテーマに1979年から活動しています。興味のある方は、ぜひHPを御覧ください。

<http://tochiko.holy.jp/>

## 家庭教育ホットライン(保護者専用)

なやむな  
**TEL028-665-7867**



受付時間

月～金曜日 午前8:30～午後9:30  
土曜日 午前8:30～午後5:30

上記時間外及び日曜日・祝日・年末年始は、相談員との相談を休止しています。お急ぎの方は、全国共通24時間子どもSOSダイヤル【0120-0-78310】におかけください。

保護者のみなさん!お子さんの育児、子育て、しつけ等家庭教育のことや友達、いじめ等対人関係のことなどで困っていること、悩んでいることはありませんか?

秘密は絶対に守ります!一人で悩まず気軽に御相談ください!

メール相談はこちら

ホットほっとメール相談

検索



やめようと 言える勇気で いじめゼロ  
栃木県教育委員会



幼児教育情報誌「おうち」 第39号  
発行者 栃木県総合教育センター幼児教育部  
(栃木県幼児教育センター)  
URL: <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/>  
※Webサイトでバックナンバーを見ることができます。

令和4年12月1日発行  
〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070  
TEL: 028-665-7215 FAX: 028-665-7216  
E-MAIL: [yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp](mailto:yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp)



マスコット ぴよちゃん